

2009年7月11日(土)

～9月6日(日)

松 岳 山 古 墳 群 を 探 る



向井山茶臼塚古墳出土鏡



文化財講演会

7月25日(土) 13:00～16:00

河内一浩氏 (羽曳野市教育委員会)

「南河内の前期古墳からみた松岳山古墳群」

鐘方正樹氏 (奈良市埋蔵文化財調査センター)

「松岳山古墳群の埴輪と前期古墳」

8月1日(土) 13:00～16:00

阪口英毅氏 (京都大学大学院文学研究科助教)

「紫金山古墳と松岳山古墳」

奥田 尚氏 (奈良県立橿原考古学研究所共同研究員)

「石材からみた大和・河内の前期古墳と松岳山古墳」

定員90名 無料 申し込み不要



茶臼塚古墳出土鏡



柏原市立歴史資料館

開館時間 9:30～16:30

休館日 月曜日

入館料 無料

交通 JR大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1

電話 072-976-3430

市民歴史大学『古墳時代の幕明け』

8月8日(土) 13:30～15:00

石野博信氏 (兵庫県立考古博物館館長
香芝市二上山博物館館長)

「古墳の出現と邪馬台国」

9月5日(土) 13:30～15:00

福永伸哉氏 (大阪大学文学部研究科教授)

「前方後円墳の出現と三角縁神獣鏡」

定員100名 無料 申し込み不要

まつおかやまこふんぐん

松岳山古墳群を探る

やまとがわ

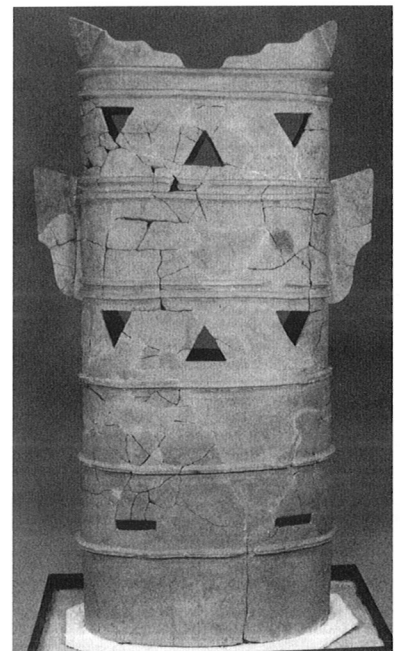
大和川が大阪平野にまさに流れ出そうとする左岸の丘陵の上に、柏原市内最大の前方後円墳である松岳山古墳があります。松岳山古墳は薄い板のような石を古墳の表面に積み上げて築かれています。古墳のもっとも高いところには石棺が露出していて、その周囲にはこの石棺を覆っていた堅穴式石室に使われていた板石が散乱しています。また、石棺の南と北には、穴のあいた大きな石が立っています。そして、古墳の周囲には大きな楕円形の埴輪が立ちならんでいたようです。このように、松岳山古墳は、とても変わった古墳です。

松岳山古墳の西には向井山茶臼塚古墳・市場茶臼塚古墳・茶臼塚古墳という3基の小さい古墳があったようです。向井山茶臼塚古墳からは中国製の三角縁神獣鏡などが出土しており、注目される古墳です。また、茶臼塚古墳からは鍬形石・車輪石・石釧とよばれる石製品が多数出土しています。もとは貝で作られた腕飾りを碧玉とよばれる石で作ったものです。

松岳山古墳の東はヌク谷とよばれ、やはり5基前後の小さい古墳があったようです。これらの古墳からも三角縁神獣鏡や歯車形石製品など注目されるものが出土しています。

これら松岳山古墳とその周辺にある古墳をまとめて松岳山古墳群と呼んでいます。松岳山古墳群は古墳時代前期、4世紀代の古墳群で、小さいながらも豊富な副葬品をもつ古墳が10基前後あったようです。その中で、松岳山古墳のみが長さ130mという大規模な前方後円墳であったことがわかります。

松岳山古墳群の大半はこれまでの開発によって失われ、出土遺物の不明なものも多数あります。今回の展示では、この松岳山古墳群から出土した資料を可能な限り集めてみました。今回初めて展示される資料もあります。関係者のご協力に感謝するとともに、これらの資料をご覧になりながら、松岳山古墳群を造営した人々や、当時の柏原のようすに思いをめぐらせていただければ幸いです。



松岳山古墳出土楕円筒埴輪

展示資料

松岳山古墳—勾玉・丸玉・管玉・ガラス小玉・石釧・銅鏃・土師器（京都大学考古学研究室所蔵、京都大学総合博物館保管）、土師器・円筒埴輪・楕円筒埴輪・形象埴輪（当館所蔵、一部柏原市指定文化財）
向井山茶臼塚古墳—三角縁四神四獣鏡・三角縁四神二獣鏡・盤龍鏡（国分神社所蔵、大阪市立美術館保管、重要文化財）

茶臼塚古墳—四獣鏡・三角縁三神三獣鏡・鍬形石・車輪石・石釧・刀・剣・斧・鎌・ヤリガンナ状鉄製品・円筒埴輪（当館所蔵、柏原市指定文化財）

ヌク谷北塚古墳—三角縁三神三獣鏡・勾玉・管玉・石釧・栓形石製品（大阪大学考古学研究室所蔵）

ヌク谷南塚古墳—青銅製短刀（京都大学総合博物館所蔵）

ヌク谷東ノ大塚古墳—歯車形碧玉製品（藤田美術館所蔵、重要文化財）、車輪石（京都大学総合博物館所蔵）

紫金山古墳—円筒埴輪・鱗付円筒埴輪（京都大学考古学研究室所蔵）

玉手山1号墳—楕円筒埴輪（当館所蔵）

船氏王後墓誌—レプリカ（大阪府立近つ飛鳥博物館所蔵）